

## －H25年度 西日本弁理士クラブ 若手会主催－

### 第1回M-1麻雀選手権 開催報告 (報告：矢野)



2013年8月3日(土)に初の若手会麻雀大会となる第1回M-1麻雀選手権を開催いたしました。近年は若者の麻雀離れも報じられており、企画立ち上げ当初は開催可能人数に達するかどうか読めない状況でしたが、ふたを開けてみれば予定人員の12名(新規入会会員1名含む)にご参加いただきました。

ここで、麻雀にご縁のない方には一部分かりづらいかもしれませんが、本大会の開催形式について説明致します。

本大会では、予選及び決勝・順位決定戦が行われます。予選は三回の東風戦(親が一度回れば終わり)、決勝・順位決定戦は二回の東南戦(親が二度回れば終わり)で行われます。どちらも時間制限が設けられ(予選は35分・決勝・順位決定は60分)、半荘が途中の場合でも、制限時間を超える直前に終了した局でその半荘は打ち切りとなります。

予選では一半荘が終わるごとに席替えを行うことでできるだけ幅広い面子と対戦して頂きました。久しぶりの麻雀という方も多く、肩慣らしも兼ねて軽い役でサクサク上がられる方が比較的多かったです。

一方、決勝・順位決定では同じ面子で二半荘ということもあってか、役満(大三元)や三倍満も含む大技が各卓で繰り出されました。特に、決勝卓は白熱し、一回戦で役満を直撃された方が、二回戦で親の連荘を積み重ねて最後には華麗に逆転するというまるで劇画のような展開となりました。ドラマチックな熱戦を制し優勝した堀喜代造先生には約束通り今後一年間「西日本で一番麻雀の打てる弁理士」を名乗っていただきたいと思います。

参加された方からはリベンジの機会を望む声も聞かれました。次回以降の開催は未定ですが是非とも前向きに検討したいと考えております。

最後に、今回の大会にご参加、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

